

教科	科目
国語	現代文B
単位数	必履修・選択(枠)
3単位	2年次必履修

教科	科目
地歴	世界史A
単位数	必履修・選択(枠)
3単位	2年次必履修

履修条件等

履修条件等… 特になし

履修条件等

履修条件等… 特になし

人数制限… 特になし

学習内容等

科目の目標… 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

人数制限… 特になし

学習内容等

科目の目標… 世界の歴史の展開について、近現代を中心に、地理的特徴や日本史と関連づけて把握する。

授業形態… 一斉授業

年間授業計画	
4月	○随筆:筆者の経験と意思を読み分ける。 ○小説①:心情表現や会話文・表情・行動などをとらえて登場人物の気持ちを読みとる。
5月	
6月	○説論文①:話題をつかみ、指示語や接続語に注意して筆者の意見を正確に読みとる。 ○詩:多様な表現技法を理解する。
7月	
8月	○説論文②:逆接や要約、言い換え、対比、具体例をもとに、筆者の意見を正確に読みとる。 ○短歌・俳句:短歌や俳句を創作する。
9月	
10月	○実用の文章:書き手の意図・工夫を読みとる。 ○小説②:登場人物の心情の変化を、きっかけに注意して読みとる。
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

授業形態… 一斉授業

年間授業計画	
4月	ユーラシアの諸文明 東アジア、南・東南アジア、西アジア、ヨーロッパに起こった各文明の特徴について学ぶ。
5月	
6月	14～18世紀の世界 アジア諸地域の動向、大航海時代以降の世界の一体化の過程について学ぶ。
7月	
8月	19～20世紀初めの世界 産業革命・市民革命以後の社会の変化、2つの世界大戦の展開について学ぶ。
9月	
10月	戦後の世界 第二次世界大戦後の国際情勢の変化について、冷戦の展開を中心に学ぶ。
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

観点別評価規準・評価項目	
関心・意欲・態度	文章中の表現に基づいて心情や書き手の意図を読みとろうとしている。 授業への取り組み、ノート
思考・判断・表現	様々な文章を通し、書き手や文章中の人物から、ものの見方、感じ方、考え方を深めている。 定期考査、授業への取り組み、ノート、プリント
技能	文章を読んで、人物、情景、心情の描写を的確にとらえることができる。 定期考査、小テスト
知識・理解	語句の意味、用法などを的確に理解し、文体や修辞などの表現上の特色をとらえている。 定期考査、小テスト

観点別評価規準・評価項目	
関心・意欲・態度	世界の歴史に対する興味・関心を持ち、自ら学ぼうとする姿勢がある。 授業への取り組み、提出物
思考・判断・表現	歴史的な出来事や背景や影響について、様々な観点から考察することができる。 発問評価、提出課題、定期考査
技能	図や文章資料から、必要な情報を適切に読み取る事ができる。 発問評価、提出課題、定期考査
知識・理解	世界の歴史に関する基本的な知識を身に付け、その展開について理解している。 発問評価、小テスト、定期考査

考査点と平常点の割合

考査:6割 平常点:4割

考査点と平常点の割合

考査:7割 平常点:3割

使用教材等

教科書…第一学習社『高等学校 標準 現代文B』
(3年次必修「現代文B」でも使用)
副教材…東京書籍『新総合 図説国語』(1年次購入済み)
旺文社『国語辞典』(1年次購入済み)

使用教材等

教科書…実教出版「新版 世界史A 新訂版」
帝国書院「新詳高等地図」(1年次で購入済)

進路・資格等

卒業後の進路… 特になし

進路・資格等

卒業後の進路… 特になし

関連資格… 特になし

関連資格… 特になし

教科	科目
数学	数学A
単位数	必修・選択(枠)
2単位	2年次必修

教科	科目
理科	生物基礎
単位数	必修・選択(枠)
2単位	2年次必修

履修条件等

履修条件等…特になし

履修条件等

履修条件等…特になし

人数制限…特になし

学習内容等

科目の目標… 基本的な知識と技能を身に付け、事象を数学的に考察する力を培う。数学のよさを理解するとともに、それらを活用する態度を身に付ける。

授業形態… 一斉授業

年間授業計画

4月 5 6月	順列と組合せ① 具体的な場面の考察を通して、順列の総数を求められるようになる。
7月 8 9月	順列と組合せ② 具体的な場面の考察を通して、組合せの総数を求められるようになる。
10月 11 12月	確率① 確率の基本的な法則についてまとめ、余事象などについて理解する。
12月 1 3月	確率② 独立な試行、条件付き確率について理解し、実際に求めることができるようになる。

人数制限…特になし

学習内容等

科目の目標… 日常生活や社会との関連をはかりながら生物や生物現象への関心を高める。生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

授業形態… 一斉授業、実験

年間授業計画

4月 5 6月	○生物の特徴 生物の多様性と共通性を理解する。生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。
7月 8 9月	○遺伝子とその働き DNAの特徴、DNAの分配による遺伝情報の伝達、DNA情報に基づくタンパク質合成を理解する。
10月 11 12月	○体内環境と恒常性 体内の環境が一定に保たれていること、自律神経と内分泌系の働き、免疫の仕組みを理解する。
12月 1 3月	○植生の多様性と分布/○生態系とその保全 生物の多様性、生態系の成り立ち、生態系の保全の重要性について理解する。

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	数学に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを活用しようとする。 出席、授業への取り組み、ノート
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、試行の過程を振り返ることができる。 授業への取り組み、ノート
数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 定期考査、小テスト
知識・理解	基本的な概念・原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。 定期考査、小テスト

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	日常生活と関連づけて、生物や生物現象に関心を持ち、意欲的に探求しようとしている。 出席、授業への取り組み、授業プリント
思考・判断・表現	実験・観察の結果や各種資料をもとに考察し、生物現象の原理を説明することができる。 定期考査、小テスト、授業プリント
技能	実験・観察に必要な技能を習得し、実験・観察の結果を的確に記録、整理できる。 実験、観察の取り組み、実験レポート
知識・理解	生物の基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 定期考査、小テスト

考査点と平常点の割合

考査:6割 平常点:4割

考査点と平常点の割合

考査:7割 平常点:3割

使用教材等

教科書…実教出版「高校数学A新訂版」
(3年次での「数学A」でも使用する)
副教材…実教出版「ステップノート 数学A」

使用教材等

教科書…第一学習社「高等学校 改訂版新生物基礎」
経費…ファイル代

進路・資格等

卒業後の進路…特になし

進路・資格等

卒業後の進路…特になし

関連資格…特になし

関連資格…特になし

教科	科目
保健体育	体育
単位数	必修・選択(枠)
2単位	2年次必修

教科	科目
保健体育	保健
単位数	必修・選択(枠)
1単位	2年次必修

履修条件等
履修条件等…特になし

履修条件等
履修条件等…特になし

人数制限…特になし

人数制限…特になし

学習内容等

学習内容等

科目の目標… 運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わう態度を養う。

科目の目標… 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

授業形態… 一斉授業

授業形態… 一斉授業

年間授業計画	
4月	バレーボール(男女) 集団競技の特性を生かし、仲間とのコミュニケーションや声かけなどの態度を養う。実技においては、3段攻撃を理解し、実践できる能力を身につける。
5月	
6月	
7月	水泳(男女)では平泳ぎの技能を身につけ、長い距離を泳ぐ能力を高める。 バスケットボール(男女)では、2線5線攻撃を理解しゲームに生かすようにする。
8月	
9月	
10月	ラグビー(男子)では、新しい運動感覚を身につけるようにする。 バドミントン(女子)では、基本的な技術を身につけ、シングルスでゲームができるようにする。
11月	
12月	
12月	バドミントン(男子)では基本的な技術を身につけ、シングルスでゲームができるようにする。 フットサル(女子)では集団的な戦術を理解し、ゲームに生かすことができるようにする。
1月	
2月	
3月	

年間授業計画	
4月	・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康 ・妊娠出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶以上の単元で性に関わる行動や将来の結婚生活を考える。
5月	
6月	
7月	・加齢と健康 高齢者のための社会的な役割 ・保健制度と保健サービス ・医療制度と医療費 以上の単元で今後起こりうる自分の親や自分自身の高齢となった生活を想像し、対処できるようにする。
8月	
9月	
10月	・大気汚染と健康 ・水質汚濁と健康 ・土壌汚染と健康 ・健康被害の防止と環境対策 ・環境衛生活動のしくみ 以上の単元で健康に関わる外部の条件を考え、よりよい生活環境を求めるための知識や実践力を学ぶ。
11月	
12月	・食品衛生活動のしくみと働き ・食品と環境の保健と私たち ・働くことと健康 ・労働災害、職業病と健康 健康的な職業生活 以上の単元で将来社会生活をしていくにあたって考えなければならないこと、気をつけなければならないことを学ぶ。
1月	
2月	
3月	

観点別評価規準・評価項目	
関心・意欲・態度	運動の楽しさ喜びを味わうために意欲的に活動し、健康、安全に配慮できる姿勢を持っている。 出席、授業への取り組み
思考・判断・表現	体力や技能を高めるために運動を計画的に工夫している。 授業への取り組み
技能	運動の実践を通じて、段階的な技能を身に付けている。 実技試験
知識・理解	運動の技術の名称や行い方を正しく理解し、効果的な練習を工夫している。 実技試験

観点別評価規準・評価項目	
関心・意欲・態度	生涯を通じる健康や社会生活と健康について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。 出席、授業への取り組み
思考・判断・表現	生涯を通じる健康や社会生活と健康について課題の解決を目指して総合的に判断できる。 授業への取り組み 課題プリント等への取り組み
技能	基本的な生活習慣を身につけている。 出席、授業への取り組み
知識・理解	生涯を通じる健康や社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎知識を習得している。 定期考査

考査点と平常点の割合
考査:実技4割 平常点:6割

考査点と平常点の割合
考査:7割 平常点:3割

使用教材等
教科書…大修館書店「最新高等保健体育改訂版」

使用教材等
教科書…大修館書店「最新高等保健体育改訂版」

進路・資格等
卒業後の進路…特になし

進路・資格等
卒業後の進路…特になし

関連資格…特になし

関連資格…特になし

教科	科目
芸術	美術 I
単位数	必修・選択(枠)
2単位	2年次必修

履修条件等

履修条件等…特になし

人数制限…特になし

学習内容等

科目の目標… 絵画・デザイン・彫刻の各分野の基礎・基本的表現力を養い、幅広い創作・鑑賞活動を通して美術の役割や働きを学ぶ。

授業形態… 一斉授業・個別

年間授業計画

4月 5月 6月	●描写や色彩の基本的な技術や知識を学ぶ ・スケッチとデッサン(鉛筆のタッチの描き分け) ・色彩の基礎
7月 8月 9月	●平面デザイン ・色彩の効果や絵の具の扱い方を生かしながら、シンボルマークとロゴタイプの制作を行う。
10月 11月 12月	●アイデアを共有して複数の人数で制作する ・モダンテクニックの技法を生かしながら、共同制作を行い、多様な価値や表現を学ぶ。
12月 1月 2月 3月	●人物の描写 ・人の顔を描く ・自画像と心象表現

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	つくること・観ることなど授業に積極的に取り組んでいる。 出席状況、授業や課題に対する取り組み
思考・判断・表現	素材や用具の特質を理解し、様々な視点で構想を練り、表現の可能性を追求している。 アイデアスケッチ、発表、プレゼンテーション
技能	素材などを効果的に用いながら、美的秩序を意図して創造的に表現している。 ワークシート、作品課題の取り組み
知識・理解	作品や作者の個性を理解し、表現や材料の工夫などについて分析し理解している。 ワークシート、感想シート、発表

考查点と平常点の割合

考查は実施せず、作品や制作態度、作品提出等で評価する。

使用教材等

教科書…日本文教出版「高校美術 I」
経費…画材セット代(2,800円)

進路・資格等

卒業後の進路…特になし

関連資格…特になし

教科	科目
外国語	コミュニケーション英語 I
単位数	必修・選択(枠)
3単位	2年次必修

履修条件等

履修条件等…特になし

人数制限…特になし

学習内容等

科目の目標… コミュニケーション英語基礎で学習したことを土台として、標準的な英語力の向上を目指す。英語の4技能をバランスよく身につける。

授業形態… 一斉授業・ペアワーク

年間授業計画

4月 5月 6月	イントロダクション ●辞書の引き方、音節とアクセントを理解する。 Lesson1 ●1年次で学んだ内容を基に、様々な時制について学び、表現方法を身につける。
7月 8月 9月	Lesson2 ●動名詞と不定詞の活用を理解するとともに、情報や考えなどを伝えたりする言語活動を学ぶ。
10月 11月 12月	Lesson3 ●受動態や目的語の多様性について理解を深め、おおよその内容や全体的な流れや必要不可欠な情報などを伝える表現などを学ぶ。
12月 1月 2月 3月	Lesson4 ●関係代名詞について理解を深め、様々な場面においてしっかり活用できる力を身につける。

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 出席状況、授業や提出物への取り組み
思考・判断・表現	語句や活用法などの知識を用いて正しく英語で表現している。 定期考查、発表、会話、プレゼンテーション
技能	辞書を活用して正しい英文を構成している。 資料の読み取り、定期考查
知識・理解	文構造や語句、語法などに関する知識を正しく身につけている。 定期考查、小テスト

考查点と平常点の割合

考查:6割 平常点:4割(出席・提出物・小テスト)

使用教材等

教科書…数研出版「Revised BIG DIPPER English Communication I」
副教材…三省堂「エースクラウン英和辞書」
(1年次購入済み)

進路・資格等

卒業後の進路…進学・就職等の必須科目

関連資格…実用英語技能検定

教 科	科 目
家庭	家庭総合
単位数	必修・選択(枠)
2単位	2年次必修

履修条件等

履修条件等・・・特になし

人数制限・・・特になし

学習内容等

科目の目標・・・食、住居、子どもや高齢者との関わりと福祉などに関する知識と技術を総合的に学ぶ。また、学んだことに関わる課題を、主体的に解決する能力と態度を身につける。

授業形態・・・一斉授業・グループワーク

年間授業計画

4月 ↓ 6月	・栄養・食品・調理及び食品衛生に関する知識や技術を身につける。 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。
6月 ↓ 9月	子どもの発達と生活、子どもの福祉について学び、親の役割と保育の重要性や地域及び社会の果たす役割を理解する。
10月 ↓ 12月	高齢者の特徴や高齢社会の現状及び福祉について学び、高齢者の生活課題や家族、地域の果たす役割について理解する。また、高齢者の自立のための支援方法などについて考える。
12月 ↓ 3月	住居の機能、住空間の計画、住環境などについて理解する。また、平面図の読み取りを通して住空間や住生活を計画する技術を身につける。

観点別評価規準・評価項目

関心・意欲・態度	日常生活と結びつけて考えようとする意欲があり、自ら学ぼうとする姿勢で授業に取り組んでいる。
	出席状況、授業や提出物への取り組み
思考・判断・表現	各種生活課題に対する解決策等を考え、まとめ発表することができる。
	定期考査、ワークシート、発表
技能	生活に必要な技能が身につけている。 生活に必要な情報を収集することができる。
	授業、実習、ワークシート
知識・理解	家庭生活に必要な様々な知識を身につけている。
	定期考査、ワークシート、発表

考査点と平常点の割合

考査点:6割 平常点:4割

使用教材等

教科書・・・東京書籍『家庭総合 自立・共生・創造』
副教材・・・教育図書『トータル・データ 家庭科ガイドブック』
(1年次購入済)
経 費・・・教材費として2,000円を徴収する。

進路・資格等

卒業後の進路・・・進学・就職等の必須科目

関連資格・・・特になし